

平成22年度当初予算のポイント

1 平成22年度当初予算編成方針

現下の厳しい経済情勢や財政状況を踏まえつつ、四日市港がめざす姿である「地域に貢献する、なくてはならない存在としての港湾」を実現するため、「四日市港政策推進プラン(2007～2010)」に掲げた目的・目標の達成に向けて、「選択と集中」を一層進め、限られた財源を重点的・効率的に配分しました。

2 予算の概要

(1) 一般会計

- 一般会計の予算総額は56億8,185万4千円で、平成21年度当初予算額と比較しますと、国直轄事業負担金や国補港湾改修事業費等の建設事業費が減額となること等により、4億1,162万6千円の減となっています。
- 財源の多くを占める県市負担金につきましては38億941万8千円で、平成21年度当初予算額と比較して2億1,060万6千円の増となっています。

この主な要因は、厳しい経済情勢の影響を受けて使用料収入が5,134万円減少するとともに、公債費が9,373万6千円増加する見込みであること、さらには泊地の浚渫等、財源として起債を充当できない事業の予算額が増加することです。

(2) 特別会計

- 特別会計の予算総額は25億4,939万3千円で、平成21年度当初予算額と比較して15億669万9千円の減となります。これは、80号岸壁背後で進めている北ふ頭国際海上コンテナターミナルの整備(平成21年度当初予算額：12億円)が平成21年度で完了すること等によるものです。
- また、厳しい経済情勢の影響等により使用料収入が3億2,094万円減少するとともに、公債費が5,703万3千円増加する見込みとなっています。

予算規模

(単位：千円、%)

区 分	21年度当初予算	22年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計	6,093,480	5,681,854	411,626	6.8
(県 市 負 担 金)	(3,598,812)	(3,809,418)	(210,606)	(5.9)
港湾整備事業特別会計	4,056,092	2,549,393	1,506,699	37.1
合 計	10,149,572	8,231,247	1,918,325	18.9

建設事業費

(単位：千円、%)

区 分	21年度当初予算	22年度当初予算	増減額	伸び率	
一般 会計	国直轄事業	850,000	554,400	295,600	34.8
	国補事業	978,000	656,000	322,000	32.9
	単独事業	50,000	25,731	24,269	48.5
	計	1,878,000	1,236,131	641,869	34.2
港湾整備事業特別会計	1,656,000	115,700	1,540,300	93.0	
合 計	3,534,000	1,351,831	2,182,169	61.7	

公債費

(単位：千円、%)

区 分	21年度当初予算	22年度当初予算	増減額	伸び率
一 般 会 計	2,850,601	2,944,337	93,736	3.3
港湾整備事業特別会計	1,688,846	1,745,879	57,033	3.4
合 計	4,539,447	4,690,216	150,769	3.3

3 主な事業

【政策1 背後圏の産業を物流面から支え、地域経済の進展に大きく貢献する港づくり】

平成21年度当初予算額：3,730,580千円 平成22年度当初予算額：1,792,810千円

(1)戦略的な集荷拡大とコンテナ定期航路の維持・拡充

現下の厳しい経済情勢等を踏まえ、これまで以上に官民一体となって四日市港の利便性や利用の優位性等を荷主企業にPRするとともに、グリーン物流促進補助事業及び基幹航路コンテナ船寄港誘致事業に取り組みます。これらの取組によって、集荷拡大、既存航路の維持安定化及び新規航路の誘致を図り、背後圏企業の産業活動を物流面から支えます。

グリーン物流促進補助事業 H21：20,000千円 H22：50,000千円【特別会計】

基幹航路コンテナ船寄港誘致事業(新) H22：40,000千円【特別会計】

ポートセールス事業 H21：9,057千円 H22：11,161千円【一般会計】

(2)港湾経営基盤の充実・強化

安全な港湾活動を実現するため、岸壁の耐震化対策や泊地の維持浚渫に計画的に取り組みむとともに、簡易上屋の撤去・荷捌地化を行い、上屋の劣化対策を進めます。また、港湾施設について、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図るため、維持管理計画の策定を進めます。

第3埠頭15号岸壁の耐震化

H21：156,000千円 H22：210,000千円【一般会計】

四日市地区2号地泊地の維持浚渫(新)

H22：87,500千円【一般会計】

維持管理計画の策定(富双・霞ヶ浦地区等)

H21：10,000千円 H22：30,000千円【一般会計】

簡易上屋の撤去・荷捌地化(新)

H22：78,000千円【特別会計】

千歳4号物揚場の石積補修 H21：10,000千円 H22：8,000千円【一般会計】

(3)スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

輸送コストの縮減、港湾貨物の定時制・即時性の確保及びリダンダンシーの確保等を図るため、霞ヶ浦地区と都市計画道路川越中央線を結ぶ臨港道路「霞4号幹線」の整備を進めるとともに、霞ヶ浦地区の水域の静穏度を確保するため、霞防波堤の整備を進めます。

国直轄事業負担金H21：850,000千円 H22：554,400千円【一般会計】

(国の事業費 H21：2,550,000千円 H22：1,663,200千円)

【政策2 災害に強く、県民や市民の安全・安心を支える港づくり】

平成21年度当初予算額：575,326千円 平成22年度当初予算額：379,783千円

(1)海岸保全施設の整備

地震・高潮・津波などの自然災害から背後地域の住民の生命・財産を守るため、海岸保全施設の耐震化等を進めます。

海岸保全施設（護岸）の補強（富田港地区）

H21：400,000千円 H22：260,000千円【一般会計】

(2)防潮扉の適切な運用

地域住民や企業のご理解、ご協力を得ながら、防潮扉の壁化を進め、自然災害に対するリスクを軽減します。

防潮扉の壁化（5門） H21：4,000千円 H22：5,000千円【一般会計】

【政策3 多くの県民や市民が訪れ、身近に感じられる港づくり】

平成21年度当初予算額：134,228千円 平成22年度当初予算額：127,594千円

(1)環境にやさしい港づくりの推進

「港湾における温室効果ガス排出削減計画」の作成に向けた検討を進めるなど、港湾運送事業者等と連携して荷役作業等の港湾活動に伴うCO2排出量の削減に向けた取組を進めます。また、住民の生活環境を改善するため、地域住民の水質浄化活動と連携して、運河地区について悪臭対策を推進します。

港湾活動に伴うCO2排出量の削減に関する検討等(一部新)

H21：150千円 H22：1,170千円【一般会計】

港湾区域内における水質・底質調査及び地盤沈下水準測量

H21：6,100千円 H22：6,900千円【一般会計】

阿瀬知川河口部の浚渫 H21：20,000千円 H22：22,000千円【一般会計】

(2)親しまれる港づくりの推進

多様な主体と協働して、もっと港のことを知っていただくために取り組み、さらには港とふれあう機会の増大に努めます。また、引き続き、景観に配慮した千歳運河沿物揚場の石積補修に取り組みます。

多様な主体との協働・参画による、港を舞台にした交流事業等（ワークショップ等の開催、一部新）

H21：2,447千円 H22：2,210千円【一般会計】

広報・情報発信事業 H21：2,090千円 H22：1,450千円【一般会計】

展望展示室運営事業 H21：10,449千円 H22：9,540千円【一般会計】

千歳4号物揚場の石積補修（再掲）